

友好を翼にのせて



カッパダンスキッズによるダンス



筑波大学フォルクローレ愛好会の学生の演奏



紙芝居を演じる尹さん、ロザリーさん



来賓（お茶席）



お茶席の北山則古先生



着物姿で一緒に記念撮影



司会（アオサイ服のフォンさん）

～“ようこそ”笑顔で始まるAIRAまつり～



我孫子第四小学校合唱部の歌



フランス語講座生の発表（歌手府馬さんと共演）



生け花の前で着物姿



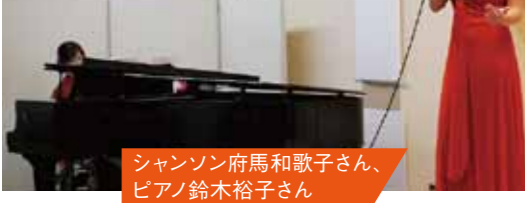
着付けを見る田口先生



韓国ブース



シャンソンを歌う府馬和歌子さん



シャンソン府馬和歌子さん、ピアノ鈴木裕子さん



日本語教室火曜クラス生徒の発表



抽選会での当選者



チケット売り場



のぼり旗でPR中の「うなぎくん」



フランスブース



中国ブース（CGU学生）



日本語教室土曜クラス生徒の発表



中国語講座生の発表



韓国語講座生の合唱



チケット引き換え



イギリスブース



ドイツブース



中国ブース（留学生と中国語講座生）



ギャラリー会場



AIRAショップ



イブニングクラスブース



アهودドリ饅頭売り場



キッズコーナー



似顔絵コーナー



ガーデンコートでドラゴン配り



ガーデンコートでPR (folkloric performance)

メインテーマ『友好を翼にのせて』、サブテーマ『“ようこそ”笑顔で始まるAIRAまつり』の「あびこ国際交流まつり」が以下の通り開催されました。

日時: 2018年11月25日(日) 11:00~16:00 (一部10:30~)

場所: あびこ市民プラザ(あびこショッピングプラザ3階)

11時20分からショッピングプラザ1階のガーデンコートで筑波大学生によるfolkloric performanceの演奏と手賀沼のうなぎちゃんによるPRが行われました。

12時過ぎから、3階ホールで子ども向け紙芝居「ごちやませカメレオン」が英語(アンデイト・ロザリー・カストロさん・フィリピン出身)と日本語(尹美娟さん・中国出身)で行われました。

I ホールでの発表

13時からホールで出し物の発表が行われました。司会は、AIRAの早坂満さんとベトナム出身の中央学院大学学生レ・タアンティエン・フォンさんです。船康彦AIRA会長と星野順一郎我孫子市長の挨拶、来賓の紹介後、次の出演者による演奏、踊り、合唱などが行われました。

- 1 カップダンスキッズによる子どもhippopダンス
- 2 筑波大学folkloric performance愛好会の学生によるfolkloric performance音楽演奏と楽器の紹介
- 3 我孫子第四小学校合唱部の生徒による合唱
- 4 フランス語講座生による合唱
- 5 シャンソン歌手府馬和歌子さんの歌と鈴木裕子さんのピアノ伴奏
- 6 日本語教室(火曜日クラス)生徒による朗読劇「いいから いいから 3」
- 7 日本語教室(土曜日クラス)生徒による合唱と国別動物の鳴き声
- 8 中国語講座(孫勉クラス)による合唱とクイズ
- 9 韓国語講座(金芝男クラス)による合唱

II サロン・和室・生け花

サロンではお茶席が設けられていました。流派小笠原家茶道古流の北山則古先生と社中の方々による茶席は、家元の家紋入りの紫の幕が席中にめぐられ、厳かで、凛とした空気が漂っていました。

和室では田口慶子先生と社中の先生方15名が外国人に着付けを行いました。日本語教室の受講生や留学生などが着物体験をし、着物姿で岩井春幸先生が生けた生け花の前で撮影したり、会場内を回り着物姿を堪能していました。

III ギャラリー

ギャラリーには、6か国の外国ブース(韓国・ペルー・ドイツ・フランス・イギリス・中国)及び日本語教室で学ぶ外国出身者によるAIRAブースが設けられていました。各ブースの壁には国をPRするポスター・写真などが飾られ、テーブルには食べ物や民芸品が並べられ、販売されていました。イブニングクラスのブースが設けられ、日本語検定試験のクイズを出していました。

その他、(公財)山階鳥類研究所のアホウドリの保護活動を支援する「アホウドリ饅頭」の販売や子ども達と遊ぶキッズコーナー(川村学園女子大学の学生—金子さん、小崎さん、小島さん)、似顔絵コーナー(小嶋さん)がありました。

IV お楽しみ抽選会

まつり最後はお楽しみ抽選会です。品物は、賛助会員(中央学院大学、山階鳥類研究所、市役所、鳥の博物館)やフランス・ドイツブースからの提供品などです。徐絲さん(中央学院大学交換留学生)が抽選箱からくじを引き、当選者には司会を行ったフォンさんが品物を手渡しました。



船AIRA会長の挨拶



星野市長の挨拶



司会(早坂さん、フォンさん)

釜山・慶州紀行



韓国語会話 松雪方雄

AIRA韓国語教室の受講生仲間釜山に旅をした。3年前のソウルに続き2回目である。今回の釜山旅行は、『現地集合・現地解散 釜山自由旅行』で、出国・帰国時間、旅行期間、フライト、ホテル全て各自で自由に決める。しかし、2日間はコア日程として全員で食事や観光をする、というものである。

【地下鉄 乗り歩き】

人口約340万人の韓国第二の都市釜山には、地下鉄は6路線ある。1日乗車券(5,000ウォン=約500円)を購入して乗った。地下鉄は深いがエスカレーターは少ない。主要駅では、韓国語の他、英語、中国語、日本語による構内放送があり、また主要駅に停車する時には日本語の車内放送があった。車内は綺麗で、照明も明るい。ただ、座席の一人当たりの幅が狭く、隣の人と密着状態。人々は座ると同時にスマホ操作を始める。

その他、車内にワゴン車を持ち込みエプロンを販売するおじさん(私的車内販売?)や“Security”の制服着用者の車内見回りなど、興味深かった。

【チャガルチで焼肉夕食会】

コア日程の1日目は、先に到着した仲間が手配した店で焼肉夕食会に全員が参加。チャガルチ一帯は焼肉店に加え、港町らしくシーフードが新鮮で、鮮魚店は朝から賑やかな街とのこと。焼肉店ではメインが牛カルビで、店から“エプロン”を付けるよう指示された。地下鉄車内で“エプロン”販売するおじさんの存在の意味が分かった。蛸の刺身は、出た時はまだ足はくねくねと動いており、新鮮だが気味が悪く、日本の飲み屋では余り見かけない光景であった。

【慶州へ日帰り旅行】

コア日程2日目は、日本語が上手なガイドとマイクロバスで慶州へ日帰り旅行をした。奈良市と姉妹都市の慶州市は釜山から車で約1時間、街全体が「屋根のない博物

館」と称される様に市内には沢山の古墳や遺跡などの文化遺産が散在し、世界遺産として登録されている。今回はその一部を見学した。

ガイドによると、4月には桜がとても綺麗で、桜の木が人口約28万人よりも多いとか(本当?少しオーバーでは!!)。韓国人なら一度は行ってみたい慶州だそうだ。

(注)慶州の世界遺産:石窟庵(ソックラム)や仏国寺(ブルグッサ)、大陵園(古墳公園)等と芬皇寺などの慶州歴史地域、郊外の良洞民族マウル(村)等

【ハプニング】

帰国時、釜山・金海国際空港にて荷物を預けてイミグレーションを通過したあと、空港内放送で私の名前が呼ばれた。20年以上前に香港空港で同じように名前を呼ばれて(この時は早く搭乗せよ)以来で、2度目の出来事。

預けた荷物の中にカメラの小さな予備のリチウムイオン電池が入っていた。機内持ち込みは良いが、預けるのはno good。不覚というほかに反省。

【まとめ】

レストランや買い物に私たちが行くところはほぼ日本語が分かる人がいた。韓国語を勉強している立場からそれで良かったのか(?)との思いがある。街中にはハンゲルの看板ばかりでそれを見て読んで、理解しようと背中を押され、韓国語を学びに何度も韓国へ旅行したいと強く思った。



天馬塚(世界遺産「慶州歴史遺跡地区」)



地下鉄車内



焼肉店内



石窟庵の石窟の説明を聞く